

大学入試のあり方に関する検討会議  
令和3年4月20日  
(独)大学入試センター 山本廣基

# 令和3年度大学入学共通テスト『英語』について

(「発音・アクセント・語句整序などを単独で問う問題」を出題しない方針について)

# 1. 令和3年度大学入学共通テスト 問題作成方針

## 大学入試センター試験

- 『英語（筆記）』において、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題を出題



## 「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」

（令和元年6月7日公表）（➡「参考1」参照）

### <英語>

- 高等学校学習指導要領では、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにすることを目標としていることを踏まえて、4技能のうち「読むこと」「聞くこと」の中でこれらの知識が活用できるかを評価する。したがって、**発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しないこととする。**
- 実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視する。

### 【方針策定の背景】

- 発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題については、従前より課題が指摘されていた。（➡「参考2」参照）  
（例）・単語単位での発音、アクセントの暗記に偏る。  
・現実に英語を使う場面では起こらない語句の並べ替えという作業を求めることになる。
- これを踏まえ、英語教育の観点から、共通テストの導入を機に試験問題の改善を図ったもの。

## 2. 「大学入試英語成績提供システム」の導入延期を受けた問題作成方針の見直し

平成29年7月

### 「大学入学共通テスト実施方針」等の公表

- ①平成35年度までは共通テストの英語試験を実施し、各大学の判断で共通テストと民間試験のいずれか、又は双方を選択利用することを可能とする。
- ②共通テストの出題内容について、英語4技能評価の必要性を踏まえ必要な改善を行う。



平成29年～令和元年

### 「大学入学共通テスト企画委員会」等において共通テストの問題作成について検討

出題教科・科目ごとに、専門家で構成する「問題作成部会問題作成方針分科会」を設置。



令和元年6月7日

### 「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」の公表

令和元年11月1日

### 文部科学大臣が「大学入試英語成績提供システム」の導入延期について発表

令和元年11月11日

### 「問題作成部会英語問題作成方針分科会」開催

「大学入試英語成績提供システム」の導入延期に伴い、問題作成方針を変更する必要性が生じるかを中心に議論。「発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しない」という方針は、従前指摘されていた課題に対応するものであり、変更する必要はないものとの結論。

令和元年11月11～13日

### 「大学入学共通テスト企画委員会」開催（書面審議）

「問題作成部会英語問題作成方針分科会」の結論について審議。

令和元年11月15日

### 『英語』の問題作成方針を変更しない旨について公表

【問題作成方針を変更しない理由】

- ・ **英語の発音、アクセント、語句整序等を単独で問う問題を**出題しないことについては、英語教育の観点から大学入学共通テストの導入を機に改善を図るものであること

### 3. 共通テスト『英語』の出題について

- 令和3年度共通テストの『英語』では、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は出題していないが、試験問題の読解や聴解を通じて、また、正答を導く過程で、英語によるコミュニケーションの基盤となる音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識が必要となるような問題が出題されている。

(➡「参考3」参照)

(例) 1月16日実施『英語(リスニング)』第1問4：実際のコミュニケーションを想定し、生徒の身近な暮らしに関わる内容を場面として設定。音声の知識と文法の知識を、「聞くこと」の中で活用できるかを評価している。(「参考3」例1)

- 個別の問題については、研究開発部による統計的な分析も踏まえ、大学入試センターに置く大学入学共通テスト問題評価・分析委員会を中心に、専門分野や教科教育の研究者、高等学校の先生方をはじめ各方面からのご意見を伺いながら、更なる改善に向けて検討していく。

※なお、ハイステークスな使われ方をする大規模共通試験において、『英語』の試験を「スピーキング」や「ライティング」という試験形態で実施することについては、現時点では、大学入学者選抜に求められる実施体制や採点等の実務に関して課題があり、実施が困難。

# 【参考1】「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」

（令和元年6月7日）（抄）

## 第1 問題作成の基本的な考え方

（略）

- 大学入試センター試験における問題評価・改善の蓄積を生かしつつ、共通テストで問いたい力を明確にした問題作成

これまで問題の評価・改善を重ねてきた大学入試センター試験における良問の蓄積を受け継ぎつつ、高等学校教育を通じて大学教育の入口段階までにどのような力を身に付けていることを求めるのかをより明確にしながら問題を作成する。

- 高等学校教育の成果として身に付けた、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力を問う問題作成

平成21年告示高等学校学習指導要領（以下「高等学校学習指導要領」という。）において育成することを目指す資質・能力を踏まえ、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視する。

また、問題作成のねらいとして問いたい力が、高等学校教育の指導のねらいとする力や大学教育の入口段階で共通に求められる力を踏まえたものとなるよう、出題教科・科目において問いたい思考力、判断力、表現力を明確にした上で問題を作成する。

- 「どのように学ぶか」を踏まえた問題の場面設定

高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のメッセージ性も考慮し、授業において生徒が学習する場面や、社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面など、学習の過程を意識した問題の場面設定を重視する。

## (続き)

### (別添) 出題教科・科目の問題作成の方針

#### (6) 外国語 (英語)

- 高等学校学習指導要領では、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにすることを目標としていることを踏まえて、4技能のうち「読むこと」「聞くこと」の中でこれらの知識が活用できるかを評価する。したがって、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しないこととする。
- 「リーディング」「リスニング」とともに、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）を参考に、各CEFRレベルにふさわしいテキスト作成と設問設定を行うことで、A1 からB1レベルに相当する問題を作成する。また、実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視する。
- 「リーディング」については、様々なテキストから概要や要点を把握する力や必要とする情報を読み取る力等を問うことをねらいとする。
- 「リスニング」については、生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わる内容について、概要や要点を把握する力や必要とする情報を聞き取る力等を問うことをねらいとする。音声については、多様な話者による現代の標準的な英語を使用する。  
読み上げ回数については、英語の試行調査の結果や資格・検定試験におけるリスニング試験の一般的な在り方を踏まえ、問題の数の充実を図ることによりテストの信頼性が更に向上することを目的として、1回読みを含める。十分な読み上げ時間を確保し、重要な情報は形を変えて複数回言及するなど、自然なコミュニケーションに近い英語の問題を含めて検討する。全ての問題を1回読みにする可能性についても今後検証しつつ、当面は1回読みと2回読みの両方の問題を含む構成で実施することとする。
- グローバル人材の育成を目指した英語教育改革の方向性の中で高等学校学習指導要領に示す4技能のバランスの良い育成が求められていることを踏まえ、「リーディング」と「リスニング」の配点を均等とする。ただし、各大学の入学者選抜において、具体的にどの技能にどの程度の比重を置くかについては、4技能を総合的に評価するよう努めるという「大学入学共通テスト実施方針」（平成29年7月）を踏まえた各大学の判断となる。

## 【参考2】「発音，アクセント，語句整序などを単独で問う問題」の課題に言及している文書の例

### 「大学入学共通テストの導入に向けた試行調査（プレテスト）（平成30年度（2018年度）実施）の結果報告」（平成31年4月4日）（抄）

- （略）①発音，アクセント，語句整序をマーク式で問う形式の問題については，英語の発音やアクセントには規則性と不規則性があるにもかかわらず，不規則性を問う問題に偏ることや，文脈の中での抑揚を問うものではなく単語単位での発音，アクセントの暗記に偏ること，現実に英語を使う場面では起こらない語句の並べ替えという作業を求めることなどについて，英語教育の観点から批判がなされてきた。
- また，②語彙，文法及び語法の知識を問うため語句の穴埋めを行う形式の問題については，言語活動の目的や場面，状況などから切り離された学習で身に付けた知識で得点が取れても，必ずしも実際に英語を活用する能力が高いわけではないという点が指摘されてきた。（略）

### 令和2年度試験問題評価委員会報告書（本試験）（抄）

外国語 英語（筆記） 第2 教育研究団体の意見・評価 2

紙面における発音問題については，発音できるということと，紙面で識別することができるということは全く別の問題であるという観点から，賛否が分かれる。

※平成31年度試験問題評価委員会報告書（本試験）にも同旨

【参考】平成29年度試行調査 教員向けアンケート調査

「発音，アクセント問題を出題していないことについて，どのように考えますか。」

・好ましい 31.6% ・どちらかという为好ましい 38.0% ・どちらかという和好ましくない 22.8% ・好ましくない 7.0%

## 【参考3】令和3年度共通テスト 試験問題例

### (例1) 音声や文法の知識を活用して解答する試験問題

1/16・17実施 『英語（リスニング）』第1問4 [4]

#### スクリプト

第1問 第1問はAとBの二つの部分に分かれています。

第1問A 第1問Aは問1から問4までの4問です。英語を聞き、それぞれの内容と最もよく合っているものを、四つの選択肢 (①~④) のうちから一つずつ選びなさい。

(中略)

Question No. 4

M: I won't give David any more ice cream today. I gave him some after lunch.

問 4  正解：②

- ① David gave the speaker ice cream today.
- ② David got ice cream from the speaker today.
- ③ David will get ice cream from the speaker today.
- ④ David will give the speaker ice cream today.

実際のコミュニケーションを想定し、アイスクリームに関する発話という、生徒の身近な暮らしに関わる内容を場面として設定した問題。

won't [wóunt] と want [wánt] という音声の知識を、単独で問うのではなく、「聞くこと」の中で活用できるかを評価している。

また、以下の文法の知識を活用することで、「won't」が使用されていることを導き出すことができる。

- ① want の後には名詞が続く、② any more は否定文で使われる



# (例2) 文法の知識を活用して解答する試験問題

1/16・17実施 『英語（リーディング）』 第3問A [17]

A You are planning to stay at a hotel in the UK. You found useful information in the Q&A section of a travel advice website.

I'm considering staying at the Hollytree Hotel in Castleton in March 2021. Would you recommend this hotel, and is it easy to get there from Buxton Airport? (Liz)

Answer

(中略)

Let me tell you my own experience of getting there.

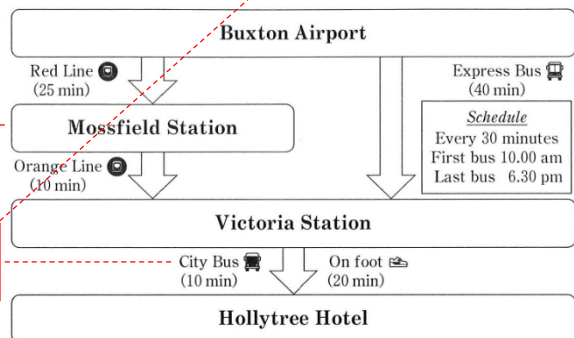
On my first visit, I used the underground, which is cheap and convenient. Trains run every five minutes. From the airport, I took the Red Line to Mossfield. Transferring to the Orange Line for Victoria should normally take about seven minutes, but the directions weren't clear and I needed an extra five minutes. From Victoria, it was a ten-minute bus ride to the hotel.

The second time, I took the express bus to Victoria, so I didn't have to worry about transferring. At Victoria, I found a notice saying there would be roadworks until summer 2021. Now it takes three times as long as usual to get to the hotel by city bus, although buses run every ten minutes. It's possible to walk, but I took the bus as the weather was bad.

Enjoy your stay!

(Alex)

Access to the Hollytree Hotel



Transfer  
(7 min)

Roadworks  
(10×3 min)

問2 You are departing on public transport from the airport at 2.00 pm on 15 March 2021. What is the fastest way to get to the hotel?

正解：②

- ① By express bus and city bus
- ② By express bus and on foot
- ③ By underground and city bus
- ④ By underground and on foot

実際のコミュニケーションを想定し、海外旅行の計画のために英語で書かれたWebサイトを閲覧するという場面を設定した問題。

“倍数 as ... as～”という文法の知識を、単独で問うのではなく、「読むこと」の中で活用できるかを評価している。

## 平成25年度センター試験（本試験）『英語（筆記）』 第2問C [21][22]

C 次の問い(問1～3)において、それぞれ下の語句を並べかえて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。解答は  ～  に入れるものの番号のみを答えよ。

問1 My friend, who can play basketball very well, practices

. 正解：⑤ → ② → ① → ④ → ③

- ① as
- ② as often
- ③ do
- ④ I
- ⑤ three times

# (例3) 文法の知識を活用して解答する試験問題

1/16・17実施 『英語(リーディング)』第3問B [18] ~ [21]

B Your classmate showed you the following message in your school's newsletter, written by an exchange student from the UK.

## Volunteers Wanted!

Hello, everyone. I'm Sarah King, an exchange student from London. I'd like to share something important with you today.

You may have heard of the Sakura International Centre. It provides valuable opportunities for Japanese and foreign residents to get to know each other. Popular events such as cooking classes and karaoke contests are held every month. However, there is a serious problem. The building is getting old, and requires expensive repairs. To help raise funds to maintain the centre, many volunteers are needed.

I learnt about the problem a few months ago. While shopping in town, I saw some people taking part in a fund-raising campaign. I spoke to the leader of the campaign, Katy, who explained the situation. She thanked me when I donated some money. She told me that they had asked the town mayor for financial assistance, but their request had been rejected. They had no choice but to start

fund-raising.

Last month, I attended a lecture on art at the centre. Again, I saw people trying to raise money, and I decided to help. They were happy when I joined them in asking passers-by for donations. We tried hard, but there were too few of us to collect much money. With a tearful face, Katy told me that they wouldn't be able to use the building much longer. I felt the need to do something more. Then, the idea came to me that other students might be willing to help. Katy was delighted to hear this.

Now, I'm asking you to join me in the fund-raising campaign to help the Sakura International Centre. Please email me today! As an exchange student, my time in Japan is limited, but I want to make the most of it. By working together, we can really make a difference.

Class 3 A  
Sarah King (sarahk@sakura-h.ed.jp)

セーラ・キング

問1 Put the following events (①~④) into the order in which they happened.

18 → 19 → 20 → 21 正解: ④ → ② → ① → ③

- ① Sarah attended a centre event.
- ② Sarah donated money to the centre.
- ③ Sarah made a suggestion to Katy.
- ④ The campaigners asked the mayor for help.

実際のコミュニケーションを想定し、留学生が作成した学校のニュースレターを読むという場面を設定した問題。

過去完了形に関する文法の知識を、単独で問うのではなく、「読むこと」の中で活用できるかを評価している。

## 平成28年度センター試験(本試験)『英語(筆記)』第2問A[8]

A 次の問い(問1~10)の 8 ~ 17 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①~④のうちから一つずつ選べ。ただし、15 ~ 17 については、(A)と(B)に入れるのに最も適当な組合せを選べ。

問1 The train 8 when I reached the platform, so I didn't have to wait in the cold. 正解: ①

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ① had already arrived | ② has already arrived |
| ③ previously arrived  | ④ previously arrives  |